

額田木の駅プロジェクト

平成 29 年度 事業報告書



森に育・行く 木の駅体験（平成 29 年 8 月 19 日 岡崎市鳥川町）

目次

- 1、活動報告
- 2、出荷状況
- 3、森の健康券利用状況
- 4、事業推進の取り組み
- 5、平成 29 年度収支報告
- 6、新聞等への掲載

1、主な活動報告

日時	活動内容	主な協議事項、実施内容
4月6日	第26回定例実行委員会	木の駅サミット報告、29年度の方針について
5月4日	第27回定例実行委員会	28年度収支報告、29年度事業計画
6月1日	第28回定例実行委員会	事業推進費の検討、森に育・行く木の駅体験計画
7月6日	第29回定例実行委員会	小原木材様への用材丸太の出荷について
8月3日	第30回定例実行委員会	測量のサポート、優良材利用の社会実験説明
8月19日	森に育・行く木の駅体験	6家族20名が鳥川町の山林で間伐・搬出を体験
8月23日	市長との対話集会	木の駅継続や地域材利用の促進について要望
9月7日	第31回定例実行委員会	商店マップ作成報告、形埜小木の駅体験について
9月21日	形埜小学校木の駅体験	伐倒、出荷、買い物の流れを5年生が体験
10月5日	第32回定例実行委員会	森の健康券デザイン選定、形埜小報告
11月2日	第33回定例実行委員会	森の健康券デザイン報告、搬出機材の貸し出し
12月7日	第34回定例実行委員会	間伐こもれび会様積み木寄贈報告
1月11日	第35回定例実行委員会	智頭町視察について、おかざき森の健康診断
1月31日	第36回定例実行委員会	こもれびかんの説明、毛呂でのヘリコプター集材
2月1日	智頭町木の宿視察受け入れ	鳥取県智頭町の木の駅関係者12名が視察
3月1日	第37回定例実行委員会	杭用丸太の販売、夏山土場の移転



形埜小学校木の駅体験(9月7日)



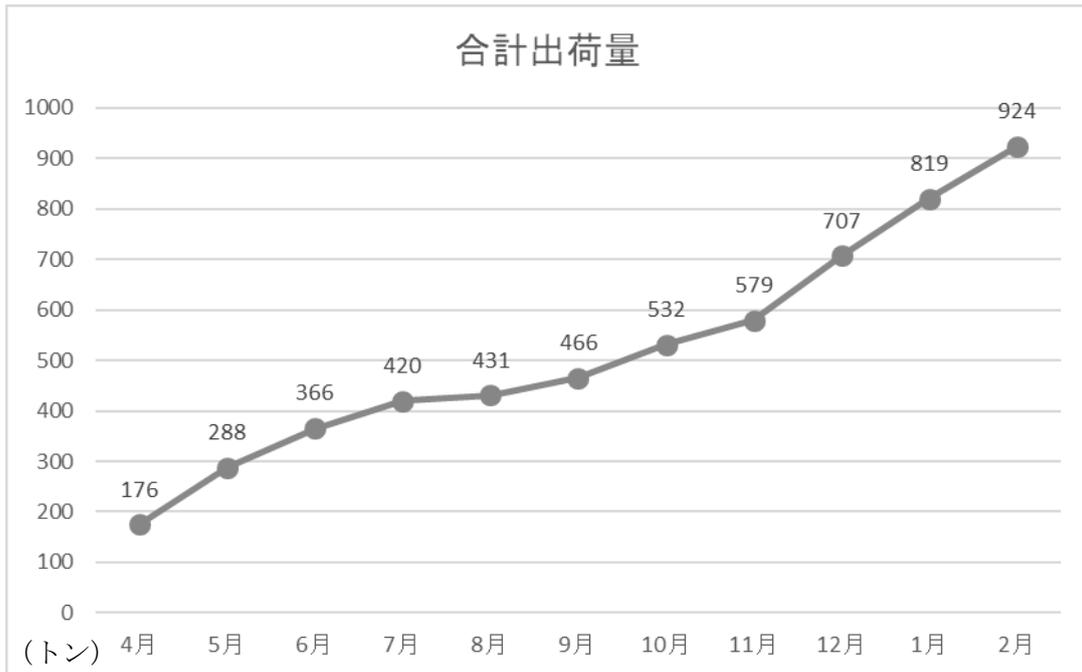
智頭町木の宿プロジェクト視察受け入れ(2月1日)

2、出荷者登録および木材の出荷状況

出荷者は28年度末時点では105名が登録していたが、時々新規登録申し込みがあり29年度末の時点では合計108名の登録者数となった。うち実際に年度内に出荷した人数は48名であり、そのうち半数は年間合計出荷量が10t未満の小規模出荷者だった。

買取は平成29年4月より開始した。当初は年間買取予算として1200tを計画していたが、出荷量が伸び悩み、年度末時点では924tとなりプロジェクト3年目にして初めて予算額を下回る結果となった。プロジェクト開始以降、3年間でのべ3068tの木材が出荷された。

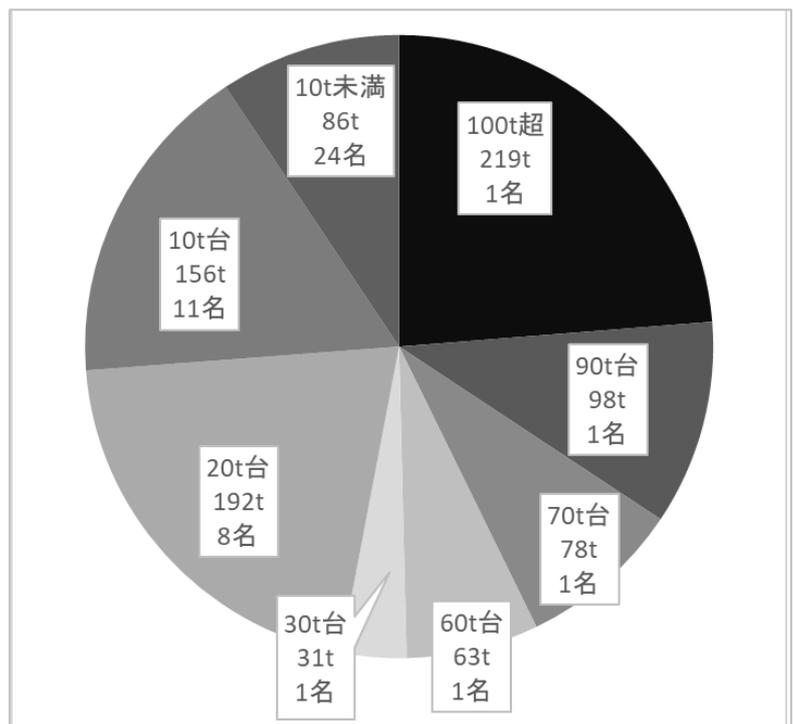
■出荷トン数の推移



■出荷者の地域別分布

形埜地区	35名
宮崎地区	18名
豊富地区	36名
下山地区	8名
額田地域外	11名
合計	108名

■出荷規模の内訳



3、森の健康券利用状況

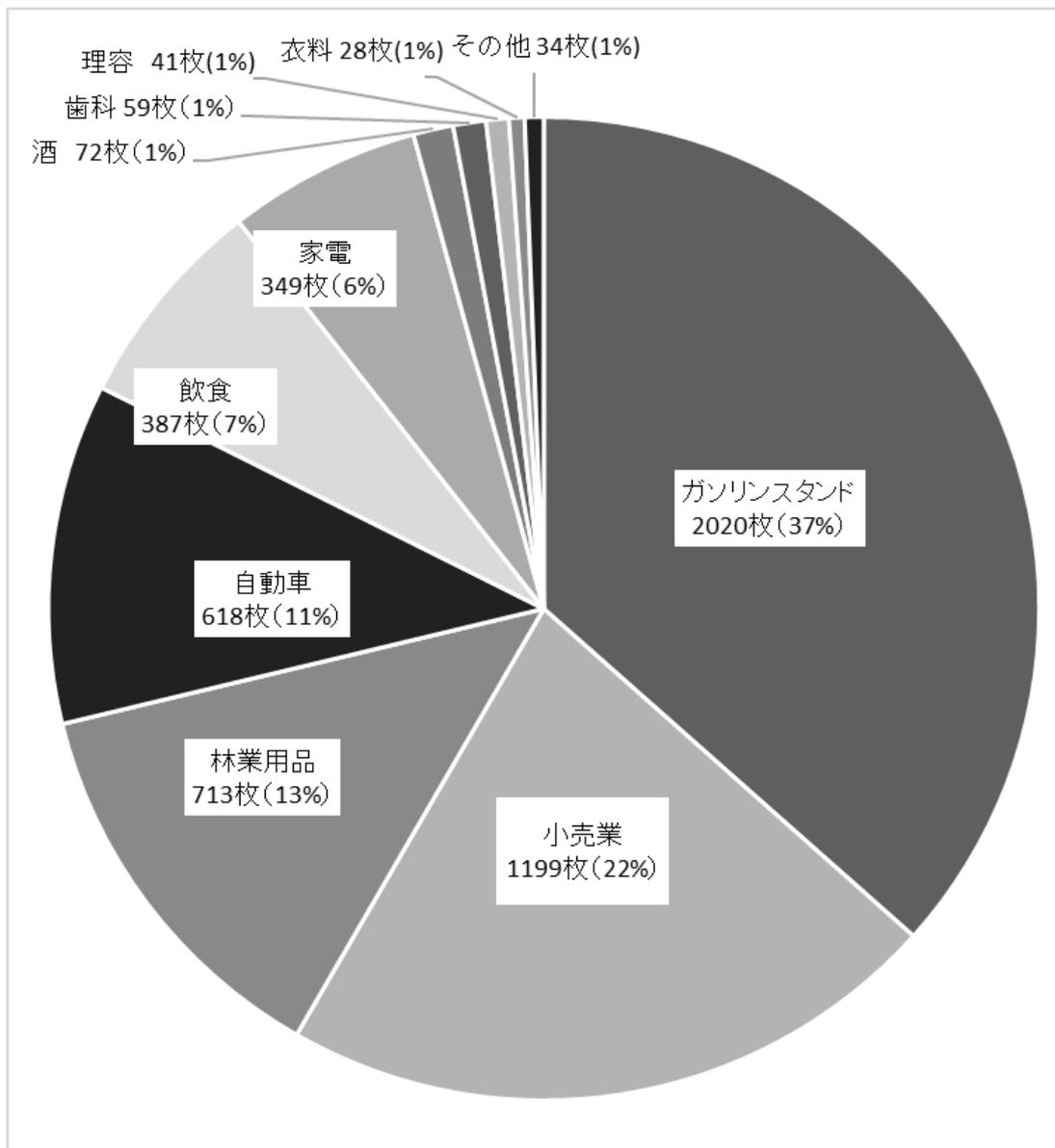


(前期デザイン。原画は豊富小の橋本拓磨くん)



(後期デザイン。原画作は形埜小の小畑亜未さん)

- 流通期間 平成 29 年 6 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
- 登録店舗数 53 店舗
- 発券枚数 5530 枚 ※553 万円相当
- 回収枚数 5527 枚(99%) …未利用枚数 3 枚(1%)
- 商店間の利用による追加経済効果 69 万円 (+13%)
- 業種別内訳 (最終換金地点の内訳)



4、事業推進の取り組み

木の駅の継続した発展のために 29 年度予算として事業推進費を計上し、間伐推進につながる様々な取り組みを実施した。

■測量器具の購入・貸出

補助金申請に当たり対象山林の測量が必要となるが、その労力を減らすためにレーザー測量機 TruePulse360 を購入し、出荷登録者への貸し出しや測量をサポートする制度を開始した。



■搬出器具の購入・貸出

間伐が進むにつれて徐々に道から離れた場所からの搬出が想定されることから、ロープとウィンチを使った簡単な架線搬出を行うことができる器具一式を購入し貸し出す制度を開始した。(あいちモリコロ基金助成事業)。



■普及啓発活動

より多くの方に木の駅プロジェクトを知っていただくために、木の駅の普及につながる活動を支援した。

- ・形埜小学校木の駅体験
- ・間伐こもれび会様の保育園への積み木寄贈活動
(竜谷・山中、本宿、藤川、緑ヶ丘)
- ・額田材を利用したベンチの設置 等



■GPS を利用した境界情報整理

所有山林の境界を GPS で記録し、台帳として整理する支援を行った。

■安全講習

安全向上のため、岡崎きこり塾とタイアップし間伐・搬出の技術講習を行った。

■広報誌の発行

出荷登録者全員に対して、木の駅について情報発信する広報誌「額田木の駅ニュース」を年 4 回発行した。

■買取単価の値上げ

間伐材の買取単価を、当初の 1 トン 6,000 円から 1 トン 6,300 円へと値上げした。

5、平成 29 年度収支報告（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

■収入の部

科目	内訳	予算額	決算額	差額
売上	チップ材売上	4,347,000	3,268,020	-1,078,980
	その他売上	324,000	178,773	-145,227
負担金収入	岡崎市負担金	4,028,000	3,140,585	-887,415
会費収入	出荷者会費	100,000	24,000	-76,000
事務手数料	出荷事務手数料	360,000	291,000	-69,000
その他	助成金収入	0	300,000	300,000
	雑収入	0	109,471	109,471
前期繰越金		632,587	632,587	0
収入計(A)		9,791,587	7,944,436	-1,847,151

■支出の部

項目	内訳	予算額	決算額	差額
地域通貨	地域通貨	7,560,000	5,821,000	-1,739,000
	地域通貨印刷費	180,000	219,240	39,240
普及啓発費	チラシ等印刷費	72,000	20,249	-51,751
消耗品費	事務用品等	30,000	39,305	9,305
	のぼり	90,000	70,200	-19,800
賃借料	土場使用料	45,000	45,000	0
通信費	郵送料	56,000	19,591	-36,409
人件費	事務局長人件費	360,000	360,000	0
	地域通貨清算人件費	90,000	74,400	-15,600
租税公課	法人税・市県民税	200,000	159,900	-40,100
その他	事業推進費	1,040,000	906,168	-133,832
	振込手数料	2,000	5,400	3,400
	予備費	66,587	85,475	18,888
支出計(B)		9,791,587	7,825,928	-1,965,659

収支差額(A-B)	0	118,508	118,508
-----------	---	---------	---------

6、新聞等への掲載状況

掲載日	メディア・番組名	内容
2017/5/12	中日新聞	「この人」欄に唐澤事務局長紹介
2017/7	林業新知識	間伐こもれば会様の自作ウインチ紹介
2017/9/22	中日新聞	形埜小学校木の駅体験の様子
2017/10/8	CBC テレビ	旅 MAX の額田特集にて木の駅が紹介
2017/10/15	読売新聞	優良材利用の社会実験について

中 日 新 聞
2017年(平成29年)9月22日(金曜日)
西三河 14

①切った木を運ぶボランティアと子どもら
②木を長さを知る児童—いずれも岡崎市桜形町で





間伐の大変さ体感

岡崎市形埜小五年生の全六人が二十一日、同市桜形町の森林で間伐を体験した。森の環境を守るために木を間引く必要性を理解し、身近にあるヒノキやスギについて学んだ。

(細谷真里)

地元の額田地区では二年前、スギやヒノキの間伐材を地域通貨を介して流通させ、活性化を図る「額田木の駅プロジェクト」がスタート。それを機に始まった授業の一環、間伐ボランティアをする市内の都築清さんら三人が協力した。

児童らはまず間伐の必要性について学んだ。木が増えすぎると、日当たりが悪くなり、根元の植物が育たなくなると水が貯める能力が低下し、木が育ちにくくなる。この仕組みを理解した上で、手のこぎりを使ってヒノキの間伐を体験。六

岡崎の森林で児童が環境学習

人が協力しながら、一本の木を三十分ほどかけて切った。切った木を巻き尺で測ると、直径十八センチ、長さ十九センチ。こんなに高かったんだ」と驚いていた。間伐した木はチップ材になり、その後、紙として利用されることが多いことも教わった。

成長期で軟らかい木の上部の皮を剥いで樹液をなめてみる試みも。子どもたちからは「苦い」「何とも言い表せない味」とさまざまな意見が飛び交った。

柴田肇々さん(こは)「森林が近くにあっても実際に切る経験はなかなかできないのでよかった。一本の木を切るのがこんなに大変だと思わなかった」と話した。

西三河版



えんとつのある風景
杉浦 淳子
みつば会所属

ニュース、情報は下記へ
社 会 部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

岡崎支局 〒444-0863
岡崎市東明大寺町16-18
0564-22-1661 Fax25-1554
豊田支局 〒471-0849
豊田市美山町3-34-34
0565-24-1010 Fax25-1118
安城通信局
0566-76-3355 Fax76-0900
西尾通信局
0563-56-3135 Fax56-3136
刈谷通信局
0566-21-0077 Fax26-0285
碧南通信局
0566-41-0468 Fax43-1047
豊橋総局
0532-52-7181 Fax54-4655

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

広告のお申し込みは
広告局三河アドセンターへ
岡崎 0564-23-3051(代)

掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

額田木の駅プロジェクト平成29年度事業報告書

発行：平成30年7月

額田木の駅プロジェクト実行委員会 事務局

TEL：0564-77-7717 nukata@kinoeki.org